

松崎町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。



広報

まつざき

2015
(平成27年)

4

No.611

伊豆トレイルジャーニー 2015 (3/15)

松崎港から修善寺総合会館までの山間部72.5キロを走破!



松崎港をスタート



門野地区・男坂



仁科峠



諸坪峠



修善寺総合会館にてゴール



表彰式

平成27年度

町長施政方針

3月3日から開会された平成27年松崎町議会第1回定例会において、町長が新年度の施政方針について発表しましたので、その要旨をお知らせします。

町長施政方針（要旨）

平成27年第1回松崎町議会定例会の開会に当たり、町政運営に関する所信の一端を申し上げます。

平成27年度の町政運営に当たっては、これまで以上に財政の合理化に努めつつ、町民



議会で施政方針について述べる齋藤町長

との連携、信頼に基づいた「平成の花とロマンのふる里づくり」を基本理念とし、「安心・安全なまちづくり」はもとより、地域の魅力を増す「日本でも最も美しい村」連合の趣旨を具現化した、独自性豊かな事業の推進や、新たに始まる地方創生事業へも、積極的

に取り組むこととしました。

平成34年度を目標年次とした第5次総合計画も3年目を迎えることになり、前期基本計画の中間評価の年と位置付け、計画の将来目標である「一人ひとりが主役となり活力とやすらぎと感動のあるまち」の実現に向け、時代に対応したまちづくりを推進します。

続いて、主な施策については、第5次総合計画の6つの基本目標に従って申し上げます。

「地域が一体となった産業が盛んなまちづくり」への対応

伊豆へ訪れる観光客の減少は、地域経済に深刻な影響を及ぼしていますが、観光の振興については、伊豆半島グラ

ンドデザインのもと、伊豆半島内の観光関連団体を一つに統合し、伊豆半島ジオパーク

推進協議会等の運営にもあたる「美しい伊豆創造センター」

への職員派遣等、他市町とも共同して取り組みます。また、観光協会等と行う誘客対策等

についても、より効果が上がるよう協力して取り組みます。また、平成27年度は伊豆の長

八生誕200年に当たることから、記念事業を開催し、内外にアピールしていきたいと考えています。

農林漁業の振興については、新規就農者、農業後継者対策として就農奨励助成や農機具等の整備費用の助成制度を継続するとともに、移住・交流による地域活性化支援事業の推進や、農産物の6次産業化も支援します。また、水産振興としては、漁港の水産物供給基盤機能保全事業を実施し、水産業の振興を図ります。

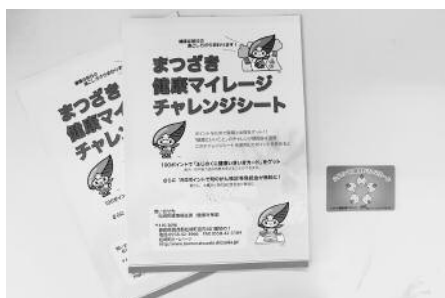
商工業の振興については、地域経済振興策として、住宅リフォームに対する助成を継続するほか、松崎ブランドの創出・展開にも力を入れます。

「健やか・安心に暮らせる福祉のまちづくり」への対応

少子高齢化の進行や家族形態の変化に伴う家庭機能の低下、地域のつながりの希薄化等により、地域が本来持っていた相互扶助の機能が低下してきているように感じます。このような中で、福祉ニーズは増加・多様化していること

から、地域の中で助け合う地域福祉の推進を図ります。

地域福祉関連事業としては、障害者自立支援医療給付費等、国の制度によるものについては、利用者増等の影響で増加傾向にあるため、町の負担部分についても増額し対応します。また、新たな取り組みとして、出産準備祝い品の支給や乗車券の利用助成、地域福祉計画の見直し等、さらなる福祉施策の充実を図るとともに、聖和保育園の移転に伴い、建設費等の補助を行い、保育園の安全確保が速やかに実施できるよう支援します。保健予防活動としては、昨年からはじめた健康マイレージ事業を継続し、各種検診の受診率向上を図ります。



健康マイレージのチャレンジシート（左）とポイントを貯めて貰えるふじのくに健康いきいきカード（右）

「防災・防犯対策が充実し
安全なまちづくり」への対応

消防・防災対策としては、

全国で多発している自然災害、とりわけゲリラ豪雨等による土砂災害への備えとして、土砂災害ハザードマップを作成し、住民の意識高揚を図ります。また、津波避難対策として、避難体制の再確認と計画的に整備を進めるため、ワークシヨップや津波避難シミュレーション、津波避難マップ作成等を含めた津波避難計画を策定します。加えて、牛原山への避難路整備を行うほか、夜間避難に対応するため、蓄電池内蔵型LED防犯灯30基を整備します。



平成26年度に設置した蓄電池内蔵型LED防犯灯

その他、災害用備蓄資材の充実にも力を入れ、住民の安心・安全を確保するため、あらゆる角度から考え対応します。

「自然と調和し快適な環境
が整ったまちづくり」への対応

町内には耕作放棄地が目立つようになってきていますが、昨今、桑の葉の栽培等で再生しているケースもあります。



耕作放棄地を利用した桑の葉の栽培（写真は植栽の様子）

また、桜葉についても新たな栽培グループが誕生する等、新しい波が起こりつつあることから、このような取り組みに対しては積極的に支援する

とともに、農地利用調整員を引き続き設置し、耕作放棄地の解消にあたります。

その他、ごみの減量化や住宅用太陽光システム設置に対する助成を行う等の環境対策を推進するほか、道路交通網の整備として、水道橋架け替え工事の実施等、四橋の改修を予定しているほか、町道石部線の舗装工事を行い道路の長寿命化を図ります。また、都市部と比較して脆弱であった通信網についても、光ファイバ網を整備し基盤強化を図ります。

「未来を担う人材を育むまち
づくり」への対応

子どもを取り巻く社会環境が大きく変化する中、自ら学び、考え、判断し、行動できる「生きる力」を育むことが大切であり、そのためには、家庭と学校そして地域が連携して教育に当たることが重要と考えます。これを実現するため、学校支援地域本部との連携を密にするとともに、小学校には引き続き特別支援員を置き、新たに中学校にも特

別支援員を置きます。また、国際化の進展に対応するため、ALT（外国語指導助手）の配置も継続します。

設備に関するものとしては、小学校体育館照明のLED化や、中学校体育館照明の落下防止装置の取り付け等充実を図り、幼稚園についても統合園舎の設計を行い、統合に向けて事業を進めます。



幼稚園の統合園舎の建設を予定している旧岩科小学校敷地

「多様な主体により協働で
進めるまちづくり」への対応

現在、地域主権の推進により地方自治体の役割は拡大しており、今まで以上に、町民、

事業者、行政がそれぞれの役割と責任を果たしながら対等の立場で話し合う、協働のまちづくりが重要となってきたことから、広報紙やホームページ等、多様な媒体により情報を提供することに努めます。また、コミュニティ活動への参加に向けた活動を啓発し、地区コミュニティを支援します。こうすることによって、自ら誇りを持ち、町民が主体となったまちづくりが推進できるものだと考えます。

そのため、これらの課題実現に向けて地域おこし協力隊員を増員し、より一層地域との連携を密にしたなかで、地域おこしに取り組みます。また、地方創生戦略策定に向けての調査を行い、地域の特徴を生かした施策を展開します。

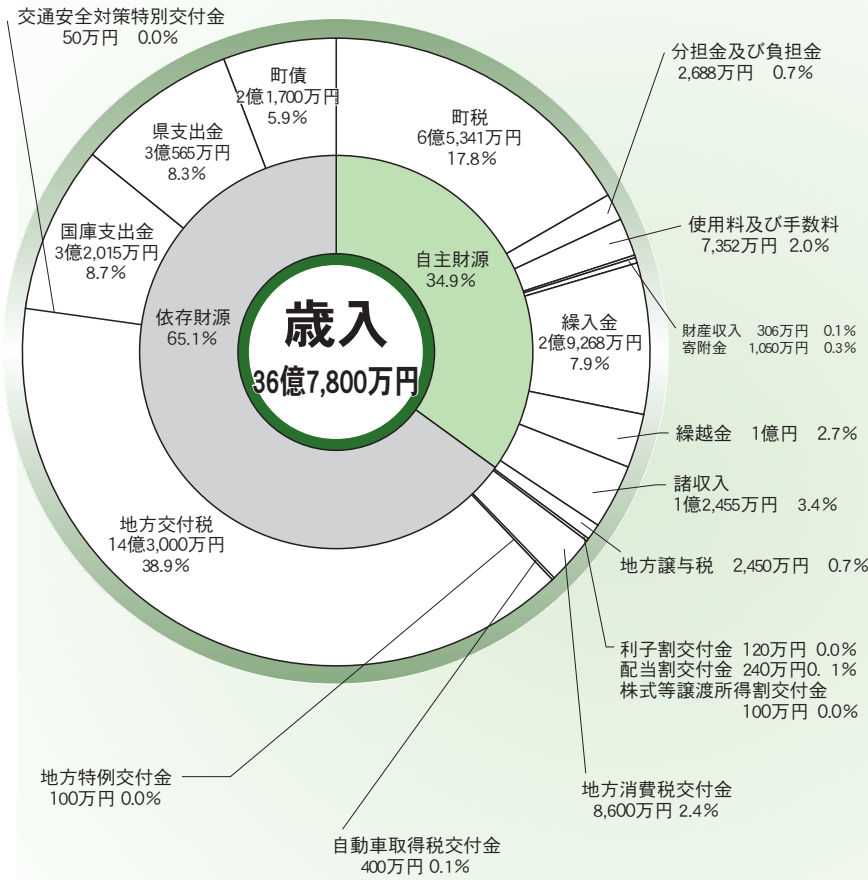
以上のような、多くの取り組みを実現していくのは人です。人材の育成なくして達成は困難となりますので、その育成に努めますが、まず町の職員からスキルアップできるような体制を強化したいと考えています。

【問合せ】

総務課（42） 3963

安心・安全なまちづくり
平成の花とロマンのふる里ひんくる

平成27年度 一般会計当初予算



(※構成比0.05%未満については、0.0%と表示しています。)

■一般会計当初予算の概要

予算編成に当たっては、これまで以上に行政運営の合理化に努めつつ、「安心・安全なまちづくり」を最優先課題とし、「日本で最も美しい村」連合の趣旨を具現化した事業を推進するため、「平成の花とロマンのふる里づくり」を基本理念とした各種事業を積極的に展開することとしました。

一般会計予算の総額は36億7,800万円で前年度比1億6,300万円増(4.6%増)となりました。

歳出では、普通建設費等が減となりましたが、補助費や物件費等が増となり、過去10年では2番目の予算規模となりました。

【歳入】

町税は約6億5,300万円(前年度比約1,800万円減)で減収と見込んだものの、国庫支出金は合計で約6億2,500万円(前年度比約1億7,400万円増)となりました。不足する財源は財政調整基金1億8,500万円等を取り崩すこととしました。

財源比率は、自主財源34.9%、依存財源65.1%とな

り、依然として地方交付税等国の施策による増減影響を受けやすい不安定な財政状況にあります。

【歳出】

「安心安全なまちづくり」施策の主なもの、津波避難計画策定や水道橋、中野橋等橋梁耐震補強補修事業等の地震津波対策や老朽化した保育園の建替えに係る補助金、出産準備支援祝い品事業の子育て支援や新寿乗車券利用事業の高齢者対策等、くらしの安心にも配慮した各種事業も展開することとしました。

「平成の花とロマンのふる里づくり」施策としては、地方創生ビジョン策定のための戦略策定調査や地域おこし協力隊増員による地域資源を活用したまちづくり、伊豆の長八生誕200年祭事業による地域活性化等、積極的に推進していくこととしました。

依然として厳しい財政状況が続いていますが、各事業の効果・優先度を検討し、無駄を省いた効率的な財政運営に努めます。

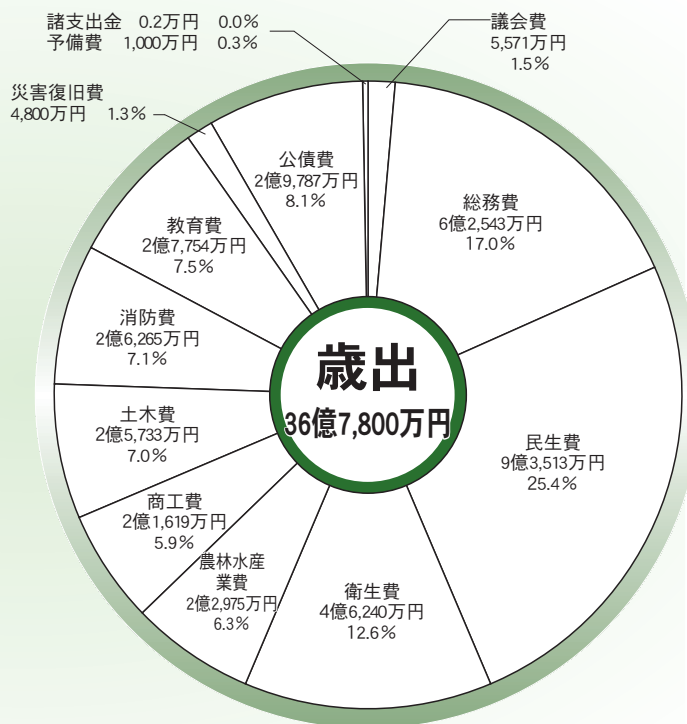
【問合せ】

総務課(42) 3963

平成27年度会計別予算額 総額 65億4,438万円

一般会計	36億7,800万円
水道事業会計	1億6,644万円
温泉事業会計	7,285万円
町営宿泊施設 伊豆まつざき荘事業会計	3億3,560万円
国民健康保険特別会計	13億1,300万円
介護保険特別会計	8億4,056万円
後期高齢者医療特別会計	1億425万円
岩地集落排水事業特別会計	753万円
石部集落排水事業特別会計	541万円
雲見集落排水事業特別会計	2,074万円

※金額は表示単位未満を四捨五入したものです。



一般会計 主な新規事業等

(単位：万円)

事業名	事業費	事業概要	担当課
保育園建設事業	12,187	聖和保育園建替えに係る補助金	健康福祉課
橋梁耐震補強補修事業	9,500	水道橋、中野橋、平戸橋、郷土橋の耐震補強補修工事	産業建設課
光ファイバ網整備事業	7,200	光ファイバ網整備事業費補助金	企画観光課
国土調査事業	3,520	地籍調査事業（伏倉・宮内地区）	産業建設課
町道長寿命化事業	2,200	町道石部線舗装補修	産業建設課
幼稚園建設事業	1,574	実施設計業務委託	教育委員会
地域おこし協力隊事業	1,133	地域おこし協力隊員4名体制、棚田を活用した地域おこし事業 他	企画観光課
鍍絵のまちづくり推進事業	1,044	伊豆の長八生誕200年祭事業・鍍絵コンクール	企画観光課
ふるさと応援寄附金	1,000	ふるさと応援基金積立金・ふるさと納税システム構築・ふるさと納税特典品	企画観光課
津波避難計画策定事業	880	ワークショップ・津波避難シミュレーション・津波避難マップの作成	総務課
日本で最も美しい村づくり事業	731	美しい村推進委員会・地域創生戦略策定調査（特別旅費） 他	企画観光課
寿乗車券利用助成事業	171	高齢者等に東海バス乗車券1,300円分を500円で販売。高齢者の閉じこもり防止対策	健康福祉課
災害時要配慮者世帯家具固定推進事業	160	65歳以上高齢者等の災害時要配慮者世帯の家庭内家具固定委託	総務課
対津波安全性調査事業	110	津波避難ビル（総合福祉センター）対波性調査	総務課
出産準備支援祝い品事業	70	妊娠のお祝い、出産準備のための支援（ロマン券の配布）	健康福祉課

平成27年度町民の方を対象とした

補助制度の概要

町民の皆様が利用できる町の補助制度の概要をご紹介します。いずれの補助制度も事業着手前に申請等が必要です。詳細については、必ず担当課でのご確認・ご相談ください。

住宅関係



住宅改修事業補助金

住宅改修に要する10万円以上の工事費(消費税額を除く)の20%に相当する額(限度額20万円、1,000円未満の端数が生じた場合は切り捨て)を補助します。

【問合せ】

企画観光課 (42) 3964

住宅用太陽光発電システム設置事業補助金

設置する太陽光発電システムの最大出力の値に5万円を乗じて得た額(限度額20万円、1,000円未満の端数が生じた場合は切り捨て)を補助します。

【問合せ】

生活環境課 (42) 3969

合併処理浄化槽設備整備事業補助金

一般住宅(店舗や別荘は対象外)で、合併処理浄化槽を新設または合併処理浄化槽を設置替えをする場合に、設置に要する費用を左の表のとおり補助します。

補助金額一覧

区分	新設(※1)	設置替え(※2)
5人槽	332,000円	414,000円
7人槽	414,000円	516,000円
10人槽	548,000円	684,000円

※1 合併処理浄化槽の新設
 ※2 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への設置替え

【問合せ】

生活環境課 (42) 3969

防災関係



救命胴衣購入費補助金

【助成対象】

津波および水害から身を守るための救命胴衣の購入経費 ※業務や釣り等の趣味活動で使用する場合は、対象となりません。

【助成金額】

1着につき2,000円

【問合せ】

総務課 (42) 3963

耐震補強に対する補助金

昭和56年5月31日以前の旧建築基準で建てられた在来木造住宅は、無料でわが家の専門家診断を受けることができます。

また、わが家の専門家診断の結果を基に耐震補強計画を作成する場合、補助があります。

耐震補強計画に基づいた耐震補強工事を行う場合にも補助があります。

【問合せ】

産業建設課 (42) 3965

家庭内家具等固定推進事業補助金

○災害時要配慮者世帯(65歳以上の高齢者のみの世帯等)

町が委託した事業者により、家具を5品まで無料で取り付けします。事業実施期間になりましたら広報や回覧等で募集をします。

○一般世帯

対象経費の1/2以内(限度額3万円)を補助します。

【問合せ】

総務課 (42) 3963

ブロック塀等 耐震改修促進事業補助金

○ブロック塀等撤去事業

地震発生時に倒壊の危険性のあるブロック塀、石塀等の撤去に要する費用(限度額10万円)を補助します。

○ブロック塀等改善事業

フェンス等の安全な塀への造り換えや既存のブロック塀を金具等により補強する工事に要する費用(限度額25万円)を補助します。

※いずれの事業も道路に面しているものに限りです。

【問合せ】

総務課 (42) 3963

住宅用火災警報器設置補助金

65歳以上の高齢者のみの世帯(住民基本台帳の世帯員がすべて65歳以上の世帯)の方が火災警報器を設置する場合、1世帯につき1個(電池式のもの)設置する費用(※限度額あり)を補助します。

【問合せ】

健康福祉課 (42) 3966

環境関係



ゴミ減量化対策補助金

○生ゴミ処理機

購入費の1/2(限度額2万円)を補助します。

○コンポスター(生ゴミ処理容器)

設置を希望される方は、生活環境課までご連絡ください。設置者個人負担金(コンポスター購入費の3割)と引き替えにコンポスターをお渡します。

※個人で購入したコンポスターは、補助の対象外です。

【問合せ】

生活環境課 (42) 3969

医療関係



不妊治療費助成

【対象者】

- ・不妊治療への医師の診断があること
- ・1年以上町内に住民登録があること
- ・医療保険法の被保険者または被扶養者であること
- ・夫婦および同一世帯に属する全員に町税等の滞納がないこと

※ただし、一般不妊治療（人工授精）の場合は、夫婦合算所得が730万円未満、年齢40歳未満の方が助成対象となり、住民登録要件も異なります。

【対象治療】

- ・一般不妊治療
- ・一般不妊治療（人工授精）
- ・特に必要と認める治療
- ・特定不妊治療

【助成金額の対象】

- ・対象治療のうち、医療保険法適用後の自己負担額。（交通費、入院費等を除く）
- ・静岡県特定不妊治療費補助

金の補助を受けた場合は、当該額を控除した額

【助成金額】

助成金額の対象の1~2

【限度額】

1回の限度額と年度内限度額は、左の表のとおりとなります。

不妊治療費助成の限度額

助成額	一般不妊治療	一般不妊治療（人工授精）	特に必要と認める治療	特定不妊治療
1回の限度額	20,000円	※3	20,000円	150,000円
年内限度額	100,000円	100,000円	100,000円	300,000円

※3 一般不妊治療（人工授精）は、助成金額の対象額の7/10で63,000円、連続する2年間のみ助成対象となり、2年間での限度額となります。

こども医療費助成

次の要件にすべて該当する場合、保険給付の対象となる医療費の自己負担分を助成します。

- ・中学3年生（15歳に達する日以降の最初の3月31日）までの子どもの保護者であること
- ・子どもと保護者の住民票が松崎町にあること
- ・子どもが医療保険の対象者となっていること

【問合せ】

健康福祉課（42） 3966

重度障害者（児）医療費助成

【助成対象】

- ・身体障害者手帳1級および2級の方
- ・内部障害3級の方
- ・療育手帳Aをお持ちの方
- ・特別児童扶養手当1級に該当する20歳未満の方
- ・精神障害者保健福祉手帳1級の方

【助成金額】

1医療機関につき、1カ月5000円の自己負担額を差し引いた金額

【問合せ】

健康福祉課（42） 3966

母子家庭等医療費助成

松崎町にお住まいの所得税非課税世帯のうち、次のいずれかに該当する方の保険給付の対象となる医療費の自己負担分を助成します。

- ・20歳未満の児童を扶養している母子家庭の母とその児童
- ・20歳未満の児童を扶養している父子家庭の父とその児童
- ・両親のいない20歳未満の児童
- ・児童の20歳の誕生日の前日の属する月の末日までとなります。

※入院時の食事療養費は、対象になりません。

【問合せ】

健康福祉課（42） 3966

高齢者用肺炎球菌ワクチン接種費助成

予防接種法に基づく定期予防接種または、松崎町独自で助成する任意予防接種に該当する方へ接種費用のうち、3,000円を助成します。

※生活保護の方は、接種費実費を助成します。

※ただし、既に高齢者用肺炎球菌予防接種を受けたことのある方は対象外となります。

○定期予防接種

【対象者】

- ・接種日に満60歳から64歳までの方で、心臓や腎臓もしくは、呼吸器の機能に障害を持ち身体障害者1級を有する方
- ・平成27年度に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、または100歳となる方

○任意予防接種

- 【対象者】
- ・定期予防接種の対象者とならない方で接種日に65歳以上の方
- ・脾臓摘出者・公害認定者ではない方
- ・任意接種であることを認識し、接種を希望する方

【問合せ】

健康福祉課（42） 3966

農業関係



農畜産物等放射性物質検査助成事業

農畜産物の放射性物質を検査機関に委託する場合に、委託費用の1~2以内（限度額1万円）を助成します。

【問合せ】

産業建設課（42） 3965

青年就農給付金

独立・自営就農時の年齢が原則45歳未満であり、農業経営者となることについての強い意欲を有していること、農地の所有権または利用権を有していること等の要件を満たした方に給付します。

【問合せ】

産業建設課 (42) 3965

農地活用条件整備対策事業助成金

助成の対象	助成率等
田のコンクリートあぜの設置または撤去	経費の1/2以内とし、30万円が限度額になります。
農業用機械器具の購入 ※新規就農者(50歳以下)に限る	
その他有効な事業で町長が認めたもの	

- 1 機械器具の購入対象は、耕作面積10^ア以上を使用するものであること
- 2 過剰なる整備および機械器具の購入はできません
- 3 同一申請者に対して、当該年度の助成金の交付は1回限りです

【問合せ】

産業建設課 (42) 3965

耕作放棄地緊急対策事業補助金

荒れた農地を再生する作業経費(10万円以上が対象)に対し、補助します。
※自分の農地を再生する場合は、対象外です。

【問合せ】

産業建設課 (42) 3965

有害鳥獣対策事業補助金

新たに狩猟免許を取得する方に、狩猟免許試験手数料の全額を補助します。

鳥獣被害防止のため、電気柵や防護柵等を設置する場合には、材料費の1/2以内(上限10万円)を補助します。

【問合せ】

産業建設課 (42) 3965

農業後継者対策奨励金

区分	奨励金の額
後継者	単身者 240,000円
	夫婦で従事 420,000円
新規参入者	単身者 480,000円
	夫婦で従事 840,000円

【問合せ】

産業建設課 (42) 3965

教育関係



教育資金利子補給金

一定の金融機関から教育資金を借り入れた方、または、公共的機関から奨学金の貸与を受けた方に、利子補給をします。

【補助対象】

- ・松崎町に住民登録があり、町内に居住している方
- ・前年における世帯の間所得金額が、770万円以下の方
- ・償還実績表提出時に町税等を完納している方

【利子補給対象限度額】

利子補給の対象となる教育資金の額は、学生または生徒1人につき500万円を限度とします。

【補助金額】

借入者が当該年度中に支払った利子のうち年率3・0%以内の額
※返済遅延による利子には、補給しません。

【問合せ】

健康福祉課 (42) 3966

軽自動車税の減免制度について

身体障害者手帳等(精神障害者保健福祉手帳・療育手帳・戦傷病者手帳を含む)の交付を受けている方が所有する軽自動車で、本人または常時介護者と認められた方が障害者等のために使用する車両については申請により軽自動車税を減免できる場合があります。

認定については、手帳に記載されている内容や使用する方の状況を審査させていただくこととなります。

減免できる車両は普通車も含めて1人1台です。

該当と思われる方には4月中旬に減免申請書をお送りします。

原付バイクのご当地ナンバープレートの交付について

今までのナンバープレートから変更する場合には、今までのナンバープレートを持参してください。

【問合せ】

窓口税務課 (42) 3968

防災マップの作成について

町では、静岡県第4次地震被害想定(第一次報告)による津波浸水想定を基に、松崎町防災マップを作成しました。

以前のマップは、静岡県第3次地震被害想定を基に平成18年3月に作成されたもので、9年ぶりの改訂となります。

このマップでは、松崎町で想定される津波浸水、洪水浸水、土砂災害の警戒区域を示しています。

このマップを参考に自宅や通学先・通勤先等において想定される災害状況を認識し、避難経路や避難場所を確認してください。また、家庭や学校、事業所、地域における防災・減災に活用をお願いします。

マップは3月上旬に各戸配付しましたが、必要な方は総務課までご連絡をお願いします。

【問合せ】

総務課 (42) 3963





IZU TRAIL Journey

伊豆トレイルジャーニー2015が開催されました

大会結果 (72・5⁺)

○男子総合

- 1位 小原将寿(神奈川県) 6時間38分35秒
- 2位 森本幸司(熊本県) 6時間52分50秒
- 3位 牛田美樹(群馬県) 6時間53分27秒

○女子総合

- 1位 福田田香理(神奈川県) 8時間34分59秒
- 2位 宮崎喜美乃(東京都) 8時間43分52秒
- 3位 安曇樹香(埼玉県) 8時間58分10秒

○出走者

- 男性 1,259人
- 女性 227人

○制限時間内完走者

- 合計 1,486人
- 男性 998人
- 女性 156人

○完走率

77・7%

3月14日、開会式・前夜祭、選手受付が環境センターで行われ、多くの参加者で町はにぎわいました。
また、町内の宿泊施設には、

約1,200人もの選手、その同伴者が宿泊し、翌日の大会を迎えました。

3月15日午前6時、松崎港を1,486人の選手がスタートし、ゴールの修善寺総合会館を目指しました。制限時間内完走者は、1,154人(完走率77・7%)となりました。

皆様のご理解・ご協力を賜り、大きな事故もなく無事に大会を終えることができたことを関係者一同、心よりお礼申し上げます。



山岳を走る選手

【問合せ】

伊豆トレイルランニングレース
実行委員会
0558(99)9118

津波避難路整備

津波避難ビルとなっている松崎中学校に迅速に避難できるように、松崎中学校グラウンドに通じる避難路が新たに整備されました。

この避難路により、うすい松崎店付近からの避難距離が大変短くなりました。

買い物等で街中に出かけたときに、津波を伴う地震が発生することも考えられますので、普段から町内の津波避難ビルや津波避難場所を確認しておくようお願いいたします。

【問合せ】

総務課(42) 3963

災害協定の締結

ヤフー株

2月18日、町はインターネット検索会社のヤフー株と、災害時に係る情報発信等に関する協定を結びました。

災害時の松崎町ホームページへのアクセス集中による閲覧負荷の軽減、町の避難勧告等の避難情報の配信、災害情報ブログ活用による情報発信手段の確保を行う内容となっています。

【問合せ】

総務課(42) 3963



新たに整備した避難路の周辺の地図



避難路としてフェンス扉と橋を整備



第2回 写真で伝える「私の好きな松崎」展

2月20日から22日までの3日間、環境センター文化ホールでは、松崎町まちづくりやろうじゃ協議会主催による松崎の「今と昔」をテーマとした写真展が開催されました。



松崎町B&G海洋センター杯グラウンドゴルフ大会

2月28日、総合グラウンドでは、松崎町B&G海洋センター杯グラウンドゴルフ大会が開催され、町内外の小学生から高齢者まで90人が参加し、世代間で交流しながら競技しました。



春の全国火災予防運動

3月1日から7日までの7日間、各地区では春の全国火災予防運動に合わせ、火災発生時に迅速な初期消火が実施されるように、消防団員による消火栓取扱い指導が行われました。



津波避難訓練

3月8日、津波浸水想定地域では、大規模地震の発生を想定した津波避難訓練が実施されました。参加者は、津波避難場所への避難経路の確認や避難に要した時間の計測等を行いました。

さらに、広報まつぎき9月号で「日本で最も美しい村」連合の副会長で伊那食品の社長・塚越さんの年輪経営について紹介させていただきましたが、松崎町がしっかりと大地に根を張ったまちづくりを行えるよう総合戦略を策定したいと考えてい

町長室からこんにちは ⑥4

松崎町長
齋藤 文彦

町を活性化させるのは、町民の皆様です。役場がやってくれるだろう、誰かがやってくれるだろうということがではなく、他人事を私事にして、町民の皆様が一人ずつ立ち上がっていくようなまちづくりを実践していきたいと考えています。

3月3日から松崎町議会定例会が開会され、平成27年度当初予算をはじめとした25議案について議会の賛成をいただきました。平成27年度当初予算において、光ファイバ網の整備や聖和保育園の建設事業費への補助金等、町の将来を見据えた活性化策や子育て支援策を充実させる予算を配分いたしました。

滑油になっていきますが、町を活性化させるのは、町民の皆様です。役場がやってくれるだろう、誰かがやってくれるだろうということがではなく、他人事を私事にして、町民の皆様が一人ずつ立ち上がっていききたいと考えています。職員は、町民の皆様への成功事例、失敗事例を学び、地域の視察研修を通じて、町の活性化につなげていきたいと考えています。

平成27年度当初予算

ます。

この戦略策定にあたり、役場の全職員を11グループに分け、美しい村加盟町村・

地域等の視察研修を通じて、

成功事例、失敗事例を学び、町の活性化につなげていき

たいと考えています。

職員は、町民の皆様への

成功事例、失敗事例を学び、

町の活性化につなげていき

たいと考えています。

職員は、町民の皆様への

成功事例、失敗事例を学び、

松崎を訪れた人の心に残る町に――

伊豆文サポーター会長 依田 宗孝さん（南区）

キラリ、輝き人 No.4



3月21日に開催したお汁粉無料サービスにて
依田宗孝さん(3列目・左)と会員・協力者の皆さん

ひな飾りや五月飾り等、四季折々の展示や飾り付けで訪れる人を楽しませている伊豆文邸。そこで活動しているのが、伊豆文サポーターだ。

伊豆文サポーターの会員は13人。伊豆文サポーターの活動に理解のある協力者10人とともに無料の休憩所として開放されている伊豆文邸内の飾り付けや清掃等、施設の運営・

管理を行っている。「松崎を訪れた人の心に残る町にしたいですね」と話すのは、伊豆文サポーターの会長・依田宗孝さん。

「毎日多くの観光客の方に寄っていただいて、その数は置いてある感想ノートが2、3カ月でいっぱいになるほど。中でも、伊豆文邸を訪れて「ほっとする」という方が多くなったのが嬉しいです」と笑顔がこぼ

れる。

また、伊豆文邸には足湯もあり、「とてもきれいに管理されていて、気持ちよく足湯を利用できる」と観光客や地元住民から好評だ。「松崎だからこそその自然や文化をアピールしたい、生かしたいというのが私たちの気持ちの一つです。伊豆文サポーターの活動に関心のある人が集まってきて、この活動がいつまでも続いていくことが希望ですね」と依田さん。

訪れた人の心も体も癒してくれる伊豆文邸。皆様も一度、訪れてみては。

Profile

いずぶんさぼーと

伊豆文邸周辺の住民13人で構成される。伊豆文邸内の飾り付けや来場者へのおもてなし、施設の清掃や運営・管理等を行っている。

*伊豆文邸…9:00～16:00
開放・不定休

◀お汁粉の無料サービスで
おもてなし



地域交流通信

松本市安曇地区から

雪山を歩こう！

スノーシュー

安曇地区は冬になると非常に多くの雪が降ります。特に乗鞍、上高地といった地区では1メートル以上の積雪があります。今回はそんな雪の上を自由に歩ける道具、スノーシューを使った事業についてご紹介します。

本年度、安曇公民館ではスノーシューによる雪中散歩を企画しました。コースは子リスの径と呼ばれる森林の中の散策路に沿ったもので、夏の間は木で作られた道の上を歩きますが、冬は積もった雪の上を歩くので、少し高い視点から森林の散策をすることができま

す。

当日は雪の降るあいにくの天気の中での散歩となりました。最初はスキー場のリフトを乗り継いでいきましたが、乗っている間は風が強く吹き、天候も相まってとても寒く、参加者からは「もっと厚着で来た方が良かった」という声が上がりました。しかし、ス

ノーシューで歩き始めて森林帯に入ると、木々が風を遮るため寒さが和らぎ、参加者も一転して「歩いていると少し暑い」と言っていました。

途中には動物の足跡があり、見つける度にインスタラクターが「これは何の足跡でしょうか？」とクイズ形式で解説をし、参加者を盛り上げながら説明をしてくれました。

乗鞍・上高地の緑や紅葉の季節における美しさは、筆舌に尽くしがたいものがありますが、冬の純白の山々もまた、格別の美しさがあります。安曇には四季折々の楽しみが溢れていますので、ぜひ、遊びに来ていただければと思います。

（安曇公民館 青柳和幸）



スノーシューによる雪中散歩

ストップ！悪質商法被害 あなたも賢い消費者に

「偽セキュリティソフトの警告広告にご注意を！」

インターネットを利用して
いると、突如画面上に「あなた
のパソコンのメモリーが不
足しています！」「あなたの
パソコンがウイルスに感染し
ています！」等と警告表示の
小さな画面(ポップアップ)が
表示されることがあります。
このような表示が突如現れる
ことで驚くかもしれませんが、
実は、これは警告表示です。
現在のところ、このような
広告から有料のセキュリティ
ソフトをダウンロードしたこ
とにより、ウイルスに感染す
る等の被害はあまり見られな
いようですが(海外では悪質
なソフトも出回っているよう
です)、いずれにせよ、この

ような表示が広告であること
を踏まえ、冷静に購入する必
要があるかどうかを慎重に判
断してください。なお、詳し
く知りたい方は、独立行政法
人情報
処理推
進機構
(IIP
A)の
ホーム
ページ
をご覧
くださ
い。
(文と絵) 司法書士 山田茂樹
【問合せ】
企画観光課(42) 3964



町の人口と世帯

(平成27年2月28日現在)
()内は前月比

総人口	7,285人	(-31人)
男	3,455人	(-14人)
女	3,830人	(-17人)
世帯数	3,044戸	(-2戸)
転入	5人	転出 22人
出生	0人	死亡 14人

(2月届出分)
戸籍だより



おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
東区	高橋 昇	83	光 弘
伏倉	小林 忠男	97	秀 一
八木山	佐藤おゑん	91	時 雄
松尾	鈴木つゆ	94	善 人
江奈4	高橋 廣	89	和 宏
宮内	馬場 政美	97	巳代子
雲見	関 房子	86	直 人
峰輪	大石勝彦	71	隆 行
南区	森 辰夫	86	茂 信
伏倉	関 岩子	92	環
南区	望月きよ	95	亘 亘
江奈2	松本 榮治	84	嘉 藏

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

町の交通事故

平成27年2月発生分

()内は前年同月比

人身事故	3件	(±0)
物損事故	8件	(-2)
死者	0人	(±0)
傷者	3人	(±0)

町職員の退職・採用

【退職】 3月31日付け
窓口税務課戸籍窓口係長
矢部 里美

教育委員会事務局松崎小学校
菜野加代子

窓口税務課課税係
内田 武久

出納室管財係
関 友佳

【採用】 4月1日付け

那賀 土屋寛子

江奈2 福本香菜

野田 斉藤孝太

江奈1 健康福祉課福祉係

石田和也

下田市 教育委員会事務局社会教育係

松本広海

窓口税務課納税係

【問合せ】
総務課(42) 3963

松崎文芸

— 短歌 —

足腰の弱りて叶はぬ身となれば
望郷のおもひことさらつよし
誰に神経つかふことなく秋の日を
樹になりきりて森を歩きぬ
戦没のみ霊よ永久にやすかれと
墓前に白菊たむけて詣づ
黒き雲の向かうに沈みゆく太陽は
いつしゆん金の横線を引
逝きし人の思ひを抱き開きゆく
白き花なるつぼみのひとつ

中村 宣子
堀岡 洋子
飯野 ふさ
平野 もみ子
山本 智恵子

広報まつれび

二〇一五年四月一日発行
通刊 第六一—号

〒411-3696 静岡県賀茂郡松崎町宮内三〇一ノ一
☎〇五〇四二—三九六四 FAX〇五〇四二—三二八三

発行 静岡県松崎町
印刷 (株)山本印刷

編集 企画観光課